

## 平成30年第4回公安委員会会議概要

開催日 平成30年2月8日(木)

開催場所 熊本県警察本部内公安委員会室

### 第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞10件、意見の聴取24件について説明があり、決裁が行われた。

### 第2 定例会議

各部からの報告

#### 1 「女性活躍と次世代育成支援に関するアンケート」の結果について

##### 【報告の要旨】

警務部から、「女性活躍と次世代育成支援に関するアンケート」の結果についての報告が行われた。

##### 【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「ワークライフバランスを図る上では、特定の職員に業務負担が集中することのないよう十分配慮する必要があるのではないか」旨の発言があり、警察から、「職員それぞれに事情がある中で、特定の職員に負担が偏るのは好ましくないので、業務の平準化を図りながらワークライフバランスを推進していかなければならないと考えている」旨の説明があった。

また、委員から、「女性職員の目指したい階級では、警部補・係長級が一番多い結果となっているが、女性職員には、是非志を高く持って、もっと上位の階級を目指してもらいたいと思っている」旨の発言があった。

#### 2 平成30年度警察費当初予算(案)の概要について

##### 【報告の要旨】

警務部から、平成30年度警察費当初予算案の概要についての報告が行われた。

##### 【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「来年度の当初予算(案)を警察としてはどのようにみているのか」旨の質問があり、警察から、「警察費の投資的経費が大きなマイナスとなる中で、ほぼ前年と同額の予算となっており、警察活動に必要な予算は計上させていただいている」旨の説明があった。

#### 3 平成29年中の生活環境事犯取締り結果について

##### 【報告の要旨】

平成29年中の生活環境事犯の検挙状況は検挙件数518件、検挙人員409人であった。その内訳は次のとおりである。

○ 生活経済事犯	件数	103件	人員	50人
○ 環境事犯	件数	113件	人員	118人
○ 風俗事犯	件数	70件	人員	51人

○ 秩序・諸法令違反等 件数 232件 人員 190人  
同じく犯行助長サービス対策の実施状況は次のとおりである。

- 口座凍結 414件
- 携帯電話対策 75件
- 有害情報削除 104件
- ヤミ金融相談件数 123件

主な検挙事例は、次のとおりである。

- つなぎ融資名下の詐欺等事件

つなぎ融資名下に、元本保証・元本を超える配当金支払いを約して、不特定多数の相手から合計6,800万円を受け取った無職女性を出資法違反で国際手配の上、通常逮捕するとともに、つなぎ融資の実態がなかったとして詐欺で再逮捕した。

- 熊本地震関連の廃棄物処理法違反（不法投棄）事件

熊本地震被災家屋の公費解体に係る廃棄物を不法投棄した解体業男性3名を通常逮捕した。

- わいせつDVD販売に係るわいせつ電磁的記録記録媒体頒布事件～熊本県警・警視庁合同捜査事件

東京都を拠点に、ダイレクトメールを送付する方法により客を募ってわいせつDVDを販売した無職男性6名を、頒布目的所持で現行犯逮捕又は頒布で通常逮捕した。

今後の方針として、

- 被害拡大防止を意識した悪質商法事犯や廃棄物事犯等の早期事件化
- 来年の国際スポーツ大会を見据えた繁華街における風俗事犯取締りの強化
- 震災に関連する悪質商法事犯、不法投棄事犯、外国人違法雇用事犯等に対する取締りの推進

を図る。

#### 4 熊本市南区薄場2丁目における夫婦間殺人未遂事件の発生・検挙について

##### 【報告の要旨】

平成30年2月4日(日)、熊本市南区薄場2丁目において発生した殺人未遂事件につき、同日、被疑者A(無職、72歳)を殺人未遂罪で現行犯逮捕した。

#### 5 ラウンドアバウト設置に伴う公安委員会による交通規制の実施について

##### 【報告の要旨】

平成30年3月下旬、熊本県合志市竹迫(たかば)「合志市竹迫土地区画整理事業」地内にラウンドアバウトが設置されることから、公安委員会による交通規制を実施する予定である。



ラウンドアバウトとは、中央に工作物又は道路標示が設けられ、車両通行部分が環状構造となっている交差点であり、環道車両が優先で、交通信号機を設置しないものである。

また、環状交差点とは、ラウンドアバウトの中で、「環状の交差点における右回り通行」の交通規制を実施したものである。

平成29年12月末現在で、全国23都府県69か所で運用しており、熊本県下では初の設置となる。

その効果（メリット）は、

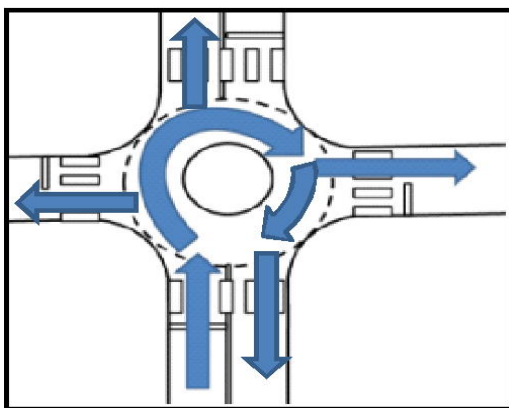
- 通行速度の低下等による事故防止
- 災害時の対応力の向上
- ライフサイクルコストの節減・環境負荷の低減

留意点（デメリット）は、

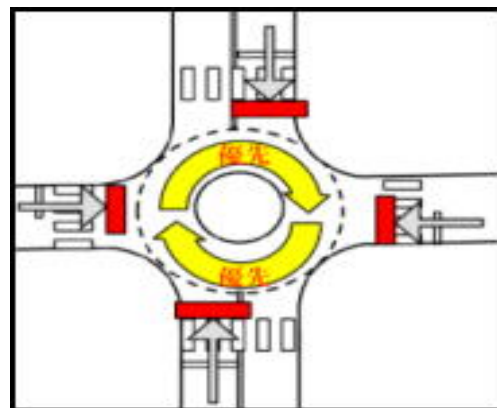
- 一般交差点と比べ、整備費用が高い
- 制御の微調整ができず、交通量の急激な変化への対応が困難

である。

車両の通行方法は、次のとおりである。



環状交差点内は、右回り(時計回り)に通行し、できる限り交差点の側端に沿って徐行



環状交差点内を通行している車両が優先であり、交差点内を通行する車両の進行を妨げてはならない

公安委員会による交通規制は、次のとおりである。

- 環状の交差点における右回り通行
- 横断歩道



交差点手前



交差点内

#### 【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「運用開始に合わせて現場指導等は実施するのか」旨の質問があり、警察から、「先行県の事故事例等を踏まえて安全教育、現場指導を徹底したい」旨の説明があった。

### 6 「平成28年熊本地震における警察活動記録」の作成について

#### 【報告の要旨】

「平成28年熊本地震」から1年9か月が経過し、現在でも仮設住宅の巡回、警ら活動など創造的復興を支える警察活動を推進しているところであるが、震災の体験・記憶を風化させることなく、これまで実施してきた災害警備活動を後世に伝えるため、平成28年熊本地震における警察活動記録を作成した。

主な内容は、次のとおりである。

- 写真で見る熊本地震災害状況等
- 熊本地震の規模及び被害状況
- 各種警察活動
- 防災関係機関との連携
- 復興への歩み
- 手記・感謝の手紙
- 反省教訓 など

#### 【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「熊本地震への県警の対応は大変だったと思う。こうした記録を後世に残し、今後の参考として活用していただきたい」旨の発言があった。

### 第3 報告・決裁等

#### 1 散弾銃の教習資格認定申請の不認定処分の決裁

生活環境課長から説明があり、決裁が行われた。

#### 2 空気銃の銃砲所持許可申請の不許可処分の決裁

生活環境課長から説明があり、決裁が行われた。

#### 3 「熊本県暴力団排除条例第19条第3項及び第20条第1項違反」に伴う違反

行為者への「勧告書」の発出並びに同条例第30条違反に伴う「事実の公表」に係る「意見陳述通知書」の送達等の決裁

組織犯罪対策課長から説明があり、決裁が行われた。

4 苦情（H29 No.17）回答の決裁

監察課長から説明があり、決裁が行われた。

5 苦情（H29 No.18）回答の決裁

監察課長から説明があり、決裁が行われた。

6 平成30年第3回公安委員会会議録の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

7 苦情（H30 No.1）回答の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

第4 事務連絡等

公安委員会事務室から、当面の行事予定等について事務連絡が行われた。